#### 断罪者と呪われた亡霊剣士

クロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

#### 注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

断罪者と呪われた亡霊剣士【小説タイトル】

**V**ロード】

【作者名】

クロ

【あらすじ】

不思議でギャグアリシリアス多めなバトルストーリー きなり夢の中で断罪者と呼ばれ骨火山に連れていかれようとする。 戦乱の世から200年後の世界に生まれた牙我の

## 断罪者1 (前書き)

大丈夫というかただけどうぞ大丈夫でしょうか?この小説には残酷な描写が含まれていますが

### 断罪者1

げられていた。 昔..世は戦国の時と言われ、 各地で領地を巡る不毛な争いが繰り広

戦火の炎は世を駆け巡り、 そいつは一人戦場に立って...ただ遠くを見据えていた。 そんな世に...一人だけ真っ直ぐな目をした武士が居た。 人々の心に深い溝を作ってい

「この国も腐りきったものだ...」

0年後の話しである。 そいつは思ったこの国を立て直そうと...そしてこれはそれから20

作業をしていた俺は手を止め、 そこには幼馴染の蓮華(れんか)が仁王立ちで立っていた。 青空がどこまでも広がる昼下がり。 牙我(こうが)!?」 声のした方を見る。

あ~... ガミガミうるせぇなぁ... 何度も言わせるな... 俺は鍛冶屋に.. 「おっ!?分かってるなら話し早ぇーじゃん 「俺は鍛冶屋になるんだ!!でしょ?」 あんた!!また授業さぼったでしょ!?」

蓮華はため息を付くと何度目かしらねと自嘲気味につぶやいた。

居ない時代。 そう...俺はこのご時世には珍しい鍛冶屋という職業を目指していた。 この頃は戦争なんてめったに起こらなくて武士や侍などはほとんど

「蓮華…邪魔だ。そこどけ」

うるさー いい?あんたこの前のテストで何点だった!?ほ

とんど0に近かったじゃない!!」

ば出来る!!」 「うっ...うるせぇ!!あの時は調子が悪かっただけだ!-俺はやれ

まったく...こいつは痛いとこ付いてくるなぁ...

世界は俺の事何か見向きもせずにゆったりとやけに遅く流れて行く。 あー...早く説教終われよ...

バチッ!?急に鈍い痛みが頭を走る。

何かが体中を稲妻みたいに駆け抜けたと思ったら俺の意識は飛んで た。

・断罪を犯した罪の子だ...」

こいつを骨火山 (こつかざん) に連れて行こう」

ああ...罪だ...貴様の存在があいつを思い出させる...」

断罪…?罪の子………骨火山…

どこかで聞いた事がある。

頭の中が何が何か分からず真っ白になる。

声を出そうにも何かに縛られてるのと耐え難い苦痛のせいで

声にならない悲鳴を発するのがやっとだ。

ん...これは...鎖!?

俺は体にまきついている銀色の物体に目を凝らす。

それは紛れも無く頑丈な鎖だった。

断罪だ...あやつの子がまだ生きていたのか...」

「灰にしてしまおう...」

ん...歌が聞こえる..

昔々あるところに

お国のためにと闘って

戦で死んだ亡霊が

骨火山の頂きから

悪い子を迎えにくるよ

断罪だ~断罪の子は

骨火山に連れてかれるよ~

昔に聞いた言い伝え..

それは古びた民謡のようでいて

奇麗過ぎるほどの声はまるで断罪者を死へ誘うかのように

紡がれ続ける。

## 断罪者1 (後書き)

最後まで読んでくれてありがとうございます 初めての投稿で慣れ

どうぞこれからもよろしくお願いしますねない事ばかりですが

# PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 ています。 の縦書き小説 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 タイ の いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n2482i/

断罪者と呪われた亡霊剣士

2010年10月18日19時24分発行